

令和7年度 授業改善推進プラン 6年（課題分析と授業改善策）

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	- 文章を書く際、与えられた条件を全て満たすことができず、必要な情報が不足した文章になってしまう。また、事実と意見とが混同した文章になってしまい、意図が伝わりづらくなっている。 - 話すことの学習の際、基礎的な力は身に付いているが、内容にまとまりがなく、情報の羅列になってしまう。	- 書くべき情報を予め確認したり、内容ごとに分けて整理したりして、文章を書く際の見通しをもたせる。その見通しを基に、推敲する活動を充実させる。 - 誰に向けて、なぜ発表するのか、相手意識や目的意識をもたせる。また、発表の準備段階で良い例を示し、発表の見通しをもたせる。	
算数	文章を読み解く力が弱く、問題場면을イメージできない児童が多い。そのため、そもそも立式ができなかったり、勘違いから被除数と除数を逆にしたりというミスが見られる。	文章題に取り組む際、自分で数直線に表したり、図で表したりするなどして、考えを可視化するための時間を設ける。	
総合的な学習の時間	言われたことや与えられた課題には取り組むが、「主体的に学習に取り組む」という学習イメージが身に付いていないため、課題を自ら見いだしたり、解決に向けた計画を具体的に立てて取り組んだりするなどの主体的な学びの力に課題がある。	- 単元の初めには、学習計画を具体的に立てる時間を意識的に設ける。また、毎時間の終わりに振り返りを行い、計画の見直しや、進捗の確認をさせる。 - 児童の必要感の高い課題を設定することで、意欲的に学習課題の設定ができるようにする。	